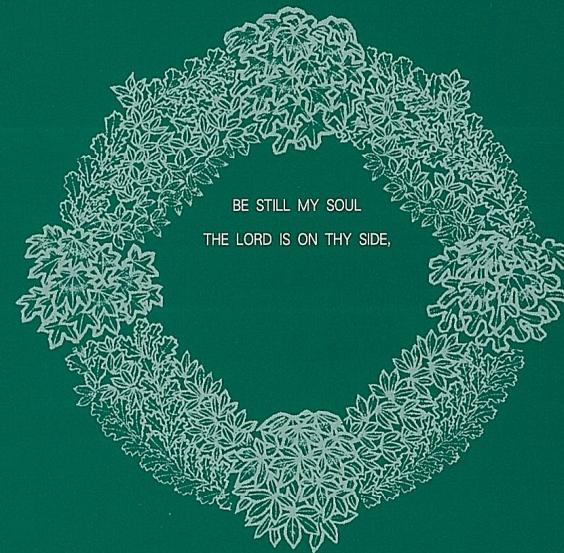


SEINAN CHANTEURS



BE STILL MY SOUL
THE LORD IS ON THY SIDE,

2003

本年二月二日、私どもの初代会長、**徳永麟之助氏**が
召天されました。本日の第一ステージを氏に捧げ追悼
演奏させて頂きます。



故 徳永 麟之助 氏

石丸 寛氏との出会い

「第九のテナーソロを歌う」

日付けは昭和二十一年十月五日と覚えていたが、
通の手紙を受取った。差出人は石丸寛と認めてある。
全く知らない人であったが、驚いたことに十二月二
十五日のライラック合唱団の定期演奏会に、ベートー
ヴェンの第九交響曲の合唱を取り上げるが、このテ
ナーのソロをやって欲しいとの依頼状である。

徳永麟之助著「よろこびのうた」より
再々の辞退にも拘わらず石丸氏の度重なる懇願により引き
受けることになった。この石丸氏との運命的な出会いで徳永
氏が終生音楽と関わることになる。尚、この演奏会は戦後の
日本人による日本で最初の第九演奏会として特記されている。

■経歴

昭和6年3月 西南学院高等学部英文科卒業
4月 西南学院中学部教諭
10年3月 九州帝国大学法学部西洋史科卒業
12年4月～20年9月 平壌・西鮮合同電気株
経理課長
21年12月～24年3月 福岡・岩崎組 資材課長
24年4月～25年3月 熊本・九州女学院教諭
26年8月～42年5月 (株)RKB毎日放送
取締役経理局長
42年6月～45年5月 (株)RKB毎日映画社
取締役社長
45年6月～56年3月 (株)FM福岡
専務取締役

■関係団体

(株)FM福岡相談役・(株)FM福岡番組審議委員会委員長
(学法)福岡女学院理事長
(学法)熊本・九州女学院理事長
(学法)西南学院理事
(学法)東京・ルーテル神学大学評議員
博多ルーテル教会代議員・福岡YMCA常議員
福岡文化連盟監事・福岡音楽団体連絡会会长
(財)アクロス福岡運営委員
●福岡合唱協会理事長
●福岡コーラ・フェライン会長
●西南学院グリークラブ顧問
●西南シャントゥール会長
●西南学院グリークラブOB会長

ごあいさつ

皆様の暖かいご声援により、私共西南シャントゥールは本日、創立49周年・第26回定期演奏会を迎えることが出来ました。これは皆様方の変わらぬご好意の賜物です。有難うございます。

唯、残念なのは今日まで共に喜びの歌声をあげ、私共を見守り導いてくださった徳永麟之助先輩が今年二月に亡くなられたことです。先輩は、練習時、集まりが悪くとも、欠席なされることなくお一人でも出席されて、出席不良の私共を引っ張ってこられました。私共は先輩の情熱と慈父のような優しさに包まれていたから、今まで歌ってこられたのです。そして、来年、創立50周年に共に喜びの歌声をと楽しみにして参りましたが、その願いは叶えられませんでした。残念です。悲しいです。無念です。しかし、いつまでも悲しみ、悔やんではおられません。それは徳永先輩のご遺志に背くことになるのです。私共は偉大な先輩が大事に守り育てて下さったシャントゥールを先輩が愛して下さったように大事に守り、切磋琢磨して「シャントゥール頑張っとるな」と喜んで頂けるよう努力致します。先輩同様、私共を常に応援して下さいます、皆様のご期待に応え最善の演奏を聴いて頂きたいと、メンバー一同、今年のステージは勿論、来年の、創立50周年の記念演奏会に向って火の玉になって燃えています。

本日の演奏会に忌憚のない、厳しいご意見をお聞かせ下さい。ご来場を感謝致します。
来年は創立50周年です。宜しくお願い致します。



西南シャントゥール
会長／鶴原 太郎

平成15年度福岡市民芸術祭参加

《創立49周年》

第26回西南シャントゥール定期演奏会

SEINAN CHANTEURS ANNUAL CONCERT 2003

2003年11月30日(日) 午後2:00開演
アクロス福岡シンフォニーホール

主催/西南シャントゥール
後援/(財)福岡市文化芸術振興財団・福岡市・福岡市教育委員会・福岡県合唱連盟・西日本新聞社

共催/西南学院大学同窓会・西南学院グリークラブOB会



「2002・第25回定期演奏会」より



福岡音楽団体連絡会
会長／香月 ハルカ

追悼の言葉

敬愛してやまなかつた大先輩、徳永麟之助さんが本年二月二日、九十四歳の天寿を全うし、神の身元に召されました。いつも穏やかに微笑んで、なにかしら優しい言葉をかけて下さる本当に素晴らしい人柄でした。

あれはいつの頃だったか…思い出せない程昔のことですが、初めて独唱を聞いたときの驚きは今でも忘れられません。ハリのある美しいテノールは、私の遠い思い出の中に鮮やかに刻みこまれています。

徳永さんとお知り合いになるきっかけは、RKB(当時はラジ九州)の仕事を通してでした。昭和31年(1956年)、私がRKB女声合唱団に入団した当時は、福岡が合唱団のメッカとして輝いていた頃の余韻がまだ感じられる良き時代でした。当時、徳永さんはRKBの経理部長という重職につかれていらっしゃいましたが、大の音楽通でご自身が西南シャントゥールや福岡合唱協会のメンバーでもあることから、私達の女声合唱団にも大変関心を持って見守って下さいました。演奏会は勿論、いろんな番組やステージの演奏を熱心に聴いて下さり、必ず率直な感想と、あたたかい励ましの言葉をかけて下さる方でした。

又、福岡で活動しているクラシックの音楽団体で結成した福岡音楽団体連絡会の会長として12年間、真摯に地元音楽界発展のためご尽力いただきました。

永い間、人工透析を続けながらの闘病生活、そして幾多の苦難を乗り越えての48年間、西南シャントゥールの初代会長としての務めも見事に果たされました。創立50年を目前にして、メンバーの皆様の無念の想いは限りないことを存知ますが、数々の功績に感謝を捧げ、生涯をかけて愛された西南シャントゥールの豊かな歌声を高らかに天まで響かせてください。

終わりになりましたが、二代目、鶴原会長のもと、更なるご発展をお祈り申し上げます。



西南学院グリークラブOB会
会長／後藤 照男

徳永大先輩を悼む

先だたれた大先輩を、後輩一同心から追悼の意を表します。

音楽を愛し合唱をこよなく愛された故徳永さんのお元気な頃の姿は忘れることなく、私達の心にいつまでも残っております。

わけても、私は昭和21年頃だったと思いますが、第九の発表会でテノールを歌われた美しい声は私の心に刻み込まれて忘れることが出来ません。

グリークラブが今まで母校にあって特色ある活動を続いているのも先輩のご指導の力によるものと感謝の気持ちで一杯です。

私は毎年11月にあるシャントゥールの発表会をいつも楽しみにしております。

先輩は天国にあって、今日の発表会をあたたかく見守って下さるよう祈ってやみません。

プログラム

I. 宗教曲 〈故・徳永麟之助会長に捧げます〉

- Requiem Aeternam 〈典礼文〉作曲／ベーター・コルネリウス
- Be Still My Soul 〈贊美歌〉作曲／ヤン・シベリウス
編曲／マーク・アンドルー
- Miserere 〈詩篇:第51編〉作曲／グレゴリオ・アッレグリ
指揮／馬頭経明

II. 男声合唱組曲 『柳河風俗詩・第二』

- 水 路 作詩／北原白秋
- 梨 作曲／多田武彦
- 立 秋 指揮／徳永和彦
- あひびき
- 散 歩
- みなし児

—— 休憩 (15分) ——

III. 男声合唱曲集 『空に、樹に…』

- 生くる 作詩／谷川俊太郎
- 天へ昇った川 川崎 洋
- 聞える 岩間芳樹
- 聞える 作曲／新実徳英
- 聞える 指揮／馬頭経明・ピアノ／堺 奈々

IV. It's A Wonderful Christmas (クリスマスソング集)

- Veni, Veni, Emmanuel
- Adeste Fideles (O Come, All Ye Faithful)
- Away In A Manger
- O Holy Night
- See That Babe In The Lowly Manger
- God Rest Ye Merry, Gentleman
- We Wish You A Merry Christmas

メツツォ・ソプラノ／野口 儀
指揮／馬頭経明



指揮／馬頭経明 (ぱとう のりあき)

1959年、西南学院大学商学部卒業。西南学院高校、大学を通じグリークラブに在籍、在学中 学生指揮者として活動。1954年西南シャントゥール設立時 高校3年生で参加、西南シャントゥール副指揮者を経て2002年より指揮者。
1996年～2002年オホーツク国際音楽セミナー・小林研一郎指揮法講座に参加。
指揮を高石 治、松岡 究、小林研一郎の各氏に師事、和声を故 竹内 剛氏に師事。
現在 福岡音楽文化協会に勤務。



指揮／徳永和彦 (とくなが かずひこ)

1961年、西南学院大学商学部卒業。
(株)福岡銀行・福岡コンピューターサービス(株) 退職後、現在、(財)福岡県中小企業振興センターに在職。
福岡高等学校合唱部、西南学院グリークラブを通じて学生指揮を務める。
西南シャントゥール副指揮者より現在に至る。



ピアノ／堺 奈々 (さかい なな)

福岡出身。5才よりピアノを始める。田村理恵子、鈴木洋両氏に師事。
福岡女学院高等学校音楽科卒業後、ドイツ・エッセン国立芸術大学に留学し、Prof. Till Engel、Thomas Günter に師事。2000年卒業後、帰国。現在福岡にて活動中。
ミュージックステーション福岡講師。



メッツオ・ソプラノ／野口 儀 (のぐち のり)

福岡雙葉高校卒業。西南学院大学文学部外国語学科(仏語専攻卒業)。
声楽を 故 森川和子、内田多佳子、マウリツィオ・コラチッキ各氏に師事。
2000年、オペラ「修道女アンジェリカ」に看護修女役で出演。又同公演において副指揮を務める。2002年、ヴィヴァルディ「グローリア」のメッツオ・ソプラノのソリストとして出演。現在、オペラ研究団体「佳の会」指揮者。西南ブリエール指揮者。コロ・マドレ ピアニスト。「佳の会」会員。

予告

《創立50周年記念》
第27回西南シャントゥール定期演奏会
大島ミチルを歌う。
創立50周年記念委嘱作品
2004年12月11日(土) 午後4:30開演
アクロス福岡シンフォニーホール

I. 宗教曲

Requiem Aeternam 『死者のためのミサ曲』

〈典礼文〉作曲／ペーター・コルネリウス(1824～1874) ドイツ

男声合唱の佳曲を多く残していますが、中でもよく親しまれている曲。鎮魂ミサ曲の最初の部分か、あるいは独立した曲かは不明です。グリークラブでは大切な曲のひとつです。

Requiem aeternam dona eis Domine,
et lux perpetua luceat eis.

永遠の安息を彼らに与えてください、主よ、
そして絶えざる光が彼らを照らしますように。

Be Still My Soul

〈讃美歌(1954)：298番・讃美歌21：532番〉作曲／ヤン・シベリウス(1865～1957) フィンランド

交響詩「フィンランディア」でよく知られた曲ですが、1927年にスコットランド教会の讃美歌として最初に収録されました。故徳永会長が一番好きだった讃美歌です。

Be still my soul the Lord is on thy side,
Bear patiently the cross of grief or pain,
Leave to thy God to order and provide,
In every change He faithful will remaine.
Be still my soul thy best thy heavenly friend
Thro throny ways leads to a joyful end

やすかれ我が魂よ 主は汝の味方なり
悲しみ、痛みの十字架にも耐え忍べよ
為すことも賜ることも 汝の神に委ねよ
いかなる移ろいの時も 揺るぎなく神は在す
やすかれ我が魂よ 汝の最良の天の友は
いばら 薙の道を通して 欲びの最期へ導くなり

(訳詞／鈴木 劍)

Miserere

〈詩編：第51編〉作曲／グレゴリオ・アッレグリ(1582～1652) イタリア

教会音楽史に残る屈指の名曲といわれています。西南学院グリークラブでは、1957年 故石丸 寛氏の指揮で演奏されて以来、大事な持ち歌となっています。

Miserere mei Deus secundum
magnum misericordiam tuam,
Amplius lava me ab iniuitate mea
et a peccato meo munda me.
Tibi soli peccavi
et malum coram te feci
ut justiceris in sermonibus tuis
et vincas cum judicaris.
Ecce enim veritatem dilexisti
incerta et occulta
sapientiae tuae manifestasti mihi.

我を憐れみたまえ、神よ
あなたの大的なる慈悲によりて
我をわが不義よりことごとく洗い
わが罪より我を潔めたまえ
ただそなたに対して罪を犯し
あなたの前で悪行をなせり
そしてあなたの言葉によりて義をさとり
裁きによりて勝つことを得るなり
見よ されど眞実を望まば
定かならぬ人しれぬところにて
あなたの英知を我に明かさん

(記：馬頭経明)



II. 男声合唱組曲『柳河風俗詩・第二』

『柳河風俗詩・第二』はシャントウールが40周年の記念事業として多田武彦氏に作曲委嘱した組曲です。初演時は男声合唱組曲『思ひ出』として歌われました。

「水 路」

幻想的な詩に美しいメロディですが、音程が難しく、今年の「全日本合唱コンクール(朝日新聞主催)」の男声合唱の課題曲に選曲された名曲です。

「梨」

白秋が幼少の思い出を歌った詩で、非常に爽やかな印象です。
ノスタルジックなメロディをバリトンとベースが歌います。

「立 秋」

ひとりの遊女が月の夜、橋の欄干の擬宝珠に手を持たせて水面に映った自分の姿をじっと見ています。なにを思いながら…。氷売りの季節も去っていこうとしています。

「あひびき」

女性は毒々しい色のキノコの中に自分を見たのでしょうか。男と女の関係を見事に暗示しています。童謡的なイメージの中に艶かしいメロディが流れます。

「散 歩」

この組曲の中でも、この曲がもっとも“多田節”が感じられます。
情緒あふれる叙情的な作品で印象に残る曲です。

「みなし児」

童謡風に作られリズミカルですが、詩の内容からは切ないもの悲しさが感じられます。
リズミカルな表現の中に、哀愁をこめた曲想が伝わればと思います。

(記: 徳永和彦)

水 路

ほうつほうつと蟻が飛ぶ……
あるかない月の夜に鳴く蟲のこゑ、
じどやかな柳河の水路を、
向ひあつた白壁の薄あかりに、
定紋つけた古い提灯が、ばんやりと、
その舟の芝居もどりの家族を眠らす。
何かしら燐のやうなおそれがむせぶ。
ほうつほうつと蟻が飛ぶ……
草のにはひのする低い土橋を、
いくつか桟をかがめて通りすぎ、
ひそひそと話してて町の方へ。
ほうつほうつと蟻が飛ぶ……
とある家のひたひたと光る汲水場に
ほんのり立つた女の素肌、
何を見てゐるのか、ふけた夜のこころに。

梨

山の街——珍ら物見の
ひと日なり、夏の朝涼、
濁酒賣る家の爺と
その爺の車に乗りて、
市場へと。——途にねむりぬ。
その帰さ、木々のみどりに
眼醒むれば、鶯啼けり。
山路なり。ふと掌に見しは
梨なりき。(清しかりし日)



柳河のたつたひとつの公園に
秋が来た。

古い懐月樓の三階へ

きりきりと繰り上ぐる氷水の硝子杯、

薄余に、雪に、しらたま、

紅い雪洞も消えさうに。

きつねのろうそく見つけた、
蘇鉄のかげの黒土に、
黄いなからうそく見つけた、

お代りに、ラムネに、サイホン、

こぼろぎも欄干に。

柳河のたつたひとつの遊女屋に
薺が生え、

住む人もないがらんどうの三階から
きりきりと繰り下ぐる氷水の硝子杯、

柳河のたつたひとつのノスカイは
しょんぱりと、
月の出の橋の擬宝珠に手を凭せ
きりきりと音のかなしい薄あかり、
けふもなほ水のながれに身を映す。

柳河のたつたひとつの遊女屋に
薺が生え、

住む人もないがらんどうの三階から
きりきりと繰り下ぐる氷水の硝子杯、

お代りに、ラムネに、サイホン、

こぼろぎも欄干に。

註

きつねのろうそく……毒草の一種、色赤く黄。

あかい夕日のてる坂で
やるせないぞへらっぱぶし……

笛が泣くのか、あやつりか、なにかわかねど、ひとすちに

糸に吊られて、音につれて、手足顛はせのぼりゆく紙の人形のひとつをどり。

手足顛はせのぼりゆく紙の人形のひとつをどり。

散 步

過ぎし日のおもひでに

植物園を歩行けば、

霜白く、蓮黃水仙の芽も青く、
鳴く鳥すらもほのかなれや、仏蘭西の赤靴……

かの蒼白き年増を

恐れてそつと歩めば、
朝は光り、いまだ茴香の露も苦く、
泣く蟲すらもほのかなれや、仏蘭西の赤靴……

なにかわかねど、ひとすちに

見れど輪廻が泣いしやくる。

笛が泣くのか、あやつりか、なにかわかねど、ひとすちに
糸に吊られて、音につれて、手足顛はせのぼりゆく紙の人形のひとつをどり。

註

きつねのろうそく……毒草の一種、色赤く黄。

あかい夕日のてる坂で
やるせないぞへらっぱぶし……

笛が泣くのか、あやつりか、なにかわかねど、ひとすちに

糸に吊られて、音につれて、手足顛はせのぼりゆく紙の人形のひとつをどり。

手足顛はせのぼりゆく紙の人形のひとつをどり。

立 秋

あひびき

みなし児

あかい夕日のてる坂で
われと泣くよならつばふし……

あかい夕日のてるなかに
ひとりあやつる商人のはそい指さぎ、舌のさき、

糸に吊られて、譜につれて、手足顛はせのぼりゆく紙の人形のひとつをどり。

菊が生え、
住む人もないがらんどうの三階から
きりきりと繰り下ぐる氷水の硝子杯、
お代りに、ラムネに、サイホン、
こぼろぎも欄干に。

柳河のたつたひとつの遊女屋に
薺が生え、

住む人もないがらんどうの三階から
きりきりと繰り下ぐる氷水の硝子杯、
お代りに、ラムネに、サイホン、
こぼろぎも欄干に。

註

ノスカイ……遊女(方言)。

過ぎし日のおもひでに

植物園を歩行けば、

霜白く、蓮黃水仙の芽も青く、
鳴く鳥すらもほのかなれや、仏蘭西の赤靴……

かの蒼白き年増を

恐れてそつと歩めば、
朝は光り、いまだ茴香の露も苦く、
泣く蟲すらもほのかなれや、仏蘭西の赤靴……

なにかわかねど、ひとすちに

見れど輪廻が泣いしやくる。

笛が泣くのか、あやつりか、なにかわかねど、ひとすちに

註

ノスカイ……遊女(方言)。

過ぎし日のおもひでに

植物園を歩行けば、

霜白く、蓮黃水仙の芽も青く、
鳴く鳥すらもほのかなれや、仏蘭西の赤靴……

註

ノスカイ……遊女(方言)。

過ぎし日のおもひでに

植物園を歩行けば、

霜白く、蓮黃水仙の芽も青く、
鳴く鳥すらもほのかなれや、仏蘭西の赤靴……



曲目解説



III. 男声合唱曲集『空に、樹に…』

『空に、樹に…』の中の、第一曲「生きる」と第三曲「聞こえる」は合唱コンクールの課題曲として作曲されたものです。少々哲学的な内容ですが、この種の曲に取り組むことも研鑽のひとつと考え挑戦してみました。

「生きる」作詩／谷川俊太郎

平成7年度のNHK学校音楽コンクール高校の部の課題曲として作曲されました。谷川俊太郎の詩、「62」と「生きる」の二つの原詩から生まれたもので“生きている”実感と“生きている事”的大切さを歌い上げた素晴らしい作品です。全編を通して、美しいメロディとハーモニー、そしてコンクールの課題曲らしい適度な難易度、メロディの「ズレ」や「マツワリツキ」が特徴的な作品です。

「天へ昇った川」作詩／川崎 洋

川崎洋のFMラジオドラマ『多摩川』のために作曲された合唱曲の中のひとつです。日本の川が公害で汚染された原点は多摩川にあると言われています。それは「羽村ダムの水道水取水で始まり昔の多摩川は終わった」といわれました。多摩川に象徴される「公害」ではなく、「自然と人間の共生関係を取り戻したい」という願いが込められているのではないでしょうか。何気なく「川」と共に生活していますが、源流から大きな河にいたる「水」のドラマ、「川」の流れ、それは「人生」「人の一生」にしばしば重ねられています。昨年の定演でとりあげました組曲『水のいのち』にも通じるものだと思っています。

「聞こえる」作詩／岩間芳樹

平成3年度のNHK学校音楽コンクール高校の部の課題曲として作曲されました。全体を通じて、作品が持っている美しいメロディ、主旋律と対旋律のバランスの妙、それは演奏者の表現力が試される、まさに「歌を歌らしく歌う」作品です。この作品が作曲された時代は世界中で大きな「変化」「事件」が勃発しています。“平和”“安全”そして“自然破壊”“環境汚染”等まさに世相を反映した人々の“叫び”が「聞こえる」ようです。

(記：馬頭経明)

生きる

谷川俊太郎 作詩

空に樹にひとに
私は自らを投げかける
やがて世界の豊かさ そのものとなるために
：私はひとを呼ぶ
すると世界がふり向く
そして私がいなくなる
生きているということ
いま生きているということ
泣けるということ
笑えるということ
怒れるということ
自由ということ
人は愛するということ
あなたの手のぬくみ
いのちということ
やがて世界の豊かさ そのものとなるために
空に樹にひとに
私は自らを投げかける
やがて世界の豊かさ そのものとなるために

曲目解説



天へ昇った川

川崎 洋 作詩

源の岩の間から したたり落ちた水たちは
互いに呼び合い歌いながら
やがて一筋の流れとなり
稻妻のように走り 滝壺で 虹をつくり
夜のあいだも おしゃべりをやめることなく
星の光とキラキラを競い
遠い海をその先端に感じながら
ひたすら流れてきたのではなかつたか
ひたすら流れてきたのではなかつたか

どうしたのだと どうしたのだ
この流れはあの流れの統きではない
あの透明な流れの統きではない
どこへいったのか どこへいったのか
あの流れは ある時 ある場所から
不意に時の流れを遡り
逝つてしまつた 亡くなつた人の魂が
天へ昇るなら あの流れも今では
存分に流れているに違ひない

魚たちをジャンプさせ それはもう
目をつむらねば見えない風景
香ばしい森の匂いを運び
飛沫をあげるたびに
太陽の光を粉々に砕き
それはどうして
魚たちをジャンプさせ それはもう
失われた者への挽歌を
聞きたくないからではないか
目をつむると見えてくる
空で歌つている
何本も何本もの銀色の流れ
今からでは遅いのだろうか
おーい 川川

鐘が鳴る 鳩が飛び立つ
広場を埋めた群衆の叫びが聞こえる
歌を 歌をください
陽が落ちる 油泥の渚
翼なくした海鳥のうめきが聞こえる
空を 空をください
歩み寄る 手に手に花を
歳月こえて壁にしに「歓喜の歌」が聞こえる
夢を 夢をください
こだまして 木々が倒れる
追われて消えた野の人々悲しい笛が聞こえる
森を 森をください
時代が話しかけている
世界が問いかけている
見えている 聞えている 感じていて
だけど なにもできないこの部屋で
膝を抱いてひとりうずくまつているいらだち
教えてくださいにができるか
光つていてる道を心ひらいて歩いていただきたい
なにができるか教えてください

聞こえる

岩間芳樹 作詩

鐘が鳴る 鳩が飛び立つ
広場を埋めた群衆の叫びが聞こえる
歌を 歌をください
陽が落ちる 油泥の渚
翼なくした海鳥のうめきが聞こえる
空を 空をください
歩み寄る 手に手に花を
歳月こえて壁にしに「歓喜の歌」が聞こえる
夢を 夢をください
こだまして 木々が倒れる
追われて消えた野の人々悲しい笛が聞こえる
森を 森をください
時代が話しかけている
世界が問いかけている
見えている 聞えている 感じていて
だけど なにもできないこの部屋で
膝を抱いてひとりうずくまつているいらだち
教えてくださいにができるか
光つていてる道を心ひらいて歩いていただきたい
なにができるか教えてください



IV. It's A Wonderful Christmas (クリスマスソング集)

2000年以前のイエス・キリスト生誕の物語は、多くの詩人や音楽家、そしてあらゆる分野の芸術家達に大きな影響を与えて参りました。粗末な納屋で処女懐胎によって生まれた幼児イエス、羊飼い達に大きな歓びの知らせを告げた神のみ使いの天使、星に導かれて東方からやってきた3人の賢人…など、聖書に記された事柄が、音楽家達の想像力を刺激し、クリスマスを祝う歌曲や器楽曲を豊かに生み出してきました。

久し振りにクリスマス曲をとりあげました。お楽しみ頂ければと思います。

Veni, Veni, Emmanuel

「久しく待ちにし」のタイトルでおなじみの曲です(讃美歌94番)。12世紀の教会施法によるラテン語の聖歌で、元来齊唱で歌わなくてはならない曲で、「調性」が出来る以前の「ドリウス施法」が用いられた大変美しいメロディの曲です。

Adeste Fideles (O Come, All Ye Faithful)

古いラテン語の聖歌で、1751年の日付があるイギリスの写本で伝えられました。

クリスマスの深夜、ミサに先立って聖域に向う聖職者の行列で歌われたと言われています(讃美歌111番)。

Away In A Manger

古くから親しまれているドイツの古謡で、マルテン・ルーターの作と考えられていましたが、真の作者は不明です。

O Holy Night

多数のオペレッタやバレエ音楽で有名なフランスの作曲家アドルフ・シャルル・アダンの作曲。美しい旋律が魅力的なフランス語の“クリスマスの歌”(Cantique de Noel)が原題ですが、一般的には“O Holy Night”としてよく知られています。

See That Babe In The Lowly Manger

黒人靈歌からクリスマスの曲を1曲選びました。黒人達の繰り返し唱える祈りの言葉が私たちにも伝わってきます。「馬小屋の中で生まれ給うたみどり児は、我らの罪を取り去ってくださるでしょう。いつの日か、いつの日か、…」

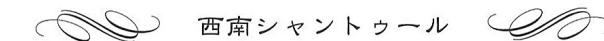
God Rest Ye Merry, Gentleman

古くは18世紀頃からイギリスで歌われているクリスマスの代表曲です。日本では「世の人忘るな」と言う題名の贊美歌として歌われています。“デ・ボア”と言うアメリカの男声合唱団の指揮者の編曲で、美しく歌い上げる女声ソロとのジョイントをお楽しみいただければ幸いです。

We Wish You A Merry Christmas

イギリスで古くから歌われているクリスマスの歌で、今ではキャロルとしてアメリカをはじめ世界中で歌われ、演奏されるクリスマスを代表するキャロルとして定番の一つです。

(記：馬頭経明)



西南シャントゥールは1954年(昭和29年)4月、西南学院グリークラブOBの54期の内海敬三氏(前・指揮者)らが中心となり結成された。以来、西南学院卒業者のみのメンバーで構成されており、西南OBの結束の堅さを継続している。シャントゥール〔Chanteurs〕という名称は、当時のアメリカ海軍の男声合唱団名の“The Sea Chanters”とフランスの男声合唱団名“Companion de la Chanson”を参考にし、結局フランス風に洒落て西南シャントゥール〔Seinan Chanteurs〕と命名された。

結成された当時は主に全日本合唱コンクールへの出場を目指し、3位入賞などの実績を残している。現在では、専ら年に一度の「定期演奏会」を活動の中心に置き、同時に又各地の合唱団とのジョイントコンサートやゲスト出演活動を続いている。現在全国的にみても、毎年定演を持つ貴重な一般男声合唱団として高く評価されている。

又、定期演奏会においては、委嘱作品の初演にも力を注ぎ注目をあびている。

多田武彦作曲：男声合唱組曲「柳河風俗詩・第二」・「三崎のうた・第二」

吉田悠作編曲：日本の歌による男声合唱のためのメドレー「海へ山へ」・

男声合唱とハープのための「アイルランド民謡」

宇野正寛編曲：男声合唱曲「日本の歌メドレー」

来年、創立50周年記念演奏会では大島ミチル作曲の新しい男声合唱曲をご披露できることと思います。

(社)全日本合唱連盟・福岡県合唱連盟・福岡音楽団体連絡会 会員

《1年間の演奏活動》

2002年11月30日〔アクロス福岡〕●〔創立48周年〕第25回西南シャントゥール定期演奏会

12月23日〔アクロス福岡〕●〔福岡女学院創立116周年記念〕クリスマスコンサート“メサイア”(有志出演)

2003年6月7日〔アクロス福岡〕●〔福岡県第58回合唱祭〕

9月23日〔長崎市民会館〕●〔長崎〕第12回コロステラ演奏会 賛助出演

11月30日〔アクロス福岡〕●〔創立49周年〕第26回西南シャントゥール定期演奏会

《出 演 者》

1st Tenor	2nd Tenor	Baritone	Bass
秋根 武	的野 恒一	林 照樹	鶴原 太郎
乙藤 成美	福井 勲	本永 哲也	下川 勝史
宮地 基次	大石 宏	中辻 浩一	木道 昇
高木 正志	野辺 和馬	和田 正義	田中 義信
中尾 武史	馬頭 経明	鈴木 勘	鶴 喜広
日高 良公	波多江 忠	石川 和義	松枝 保匡
飛松 智明	徳永 和彦	古賀 正義	平田大三郎
本山 和文	黒江 量二	松尾 淳郎	阪井 俊文
山元 一憲	石橋 一幸	佐藤 棟也	蓮尾 勝右
倉地 進	徳永 武雄	里中 健	毛利 正明
大司 真	石松 茂	小西 真二	波多野勝彦
日下部一徳	窪田 敏博	菊竹 章剛	夏秋 育昭
			森 博彥
			中垣 登

♪夏の朝、七時だいの電話のほとんどは徳永会長からのものだった。「起こしたんじゃない」で始まり、「練習どうですか、集まりはどうですか」というお声ももう聞かれなくなってしまった。徳永会長との想い出は数多くあるが、何といっても一番記憶に残るのは、会長が八十九歳になられた時に企画された「翁寿を祝う記念音楽会」であろう。この時シャントゥールのカンツォーネのステージでテナーソロをされたが、声楽家の奥田良三氏に負けていないと思った。本当に美しい声の持ち主だった。今日も一緒にステージに並んで居られるような気がする。永い間有難うございました。ご冥福お祈り致します。
(G.マネージャー/中尾武史)



天神どまんなかの「福岡国際ホール」

同窓会・記念祝賀会・食事会・講演会
展示会・記念式典・各種会議・研修会

交通便利な！

 福岡国際ホール

福岡市中央区天神1丁目4-1西日本新聞会館16階
092(712)8855

きどう動物病院

KIDOU SMALL ANIMAL HOSPITAL

獣医師 木道 寛・木道浩子

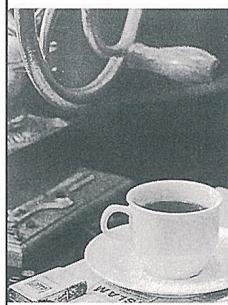
福岡市城南区田島5-4-18
TEL 092-862-1222



大切な絵画の保存に油絵のお手入れと額装
絵画用品・額縁・美術教材の専門店

YAMAMOTO
Bumpodo
Since 1932

株式会社 山本文房堂
本店/福岡市中央区大名2丁目4-32 TEL 092(751)4342
URL <http://www.yamabum.com> E-mail yamabum@anet.ne.jp



coffee
• FUJIKAN •
●天神ビブレB 1店

COFFEE
BLEND'S
ブレンズ コーヒー
●天神西日本ビルB 1店
●博多駅ビル一階店

♪みどりも音楽も育った♪ **2004 ミュージックフェスティバル**

アクロス福岡10周年記念 2004年5月5日(水・祝) アクロス福岡

シンフォニーホールコンサート

第一部 アジアのひびき 指揮: 福田 隆
ヴァタニシキントムラとマンドリン
オーケストラのための協奏曲
マンドリン独奏: 高橋和彦
何占豪、陳銅: ヴァイオリン協奏曲
「梁山泊と祝英台」
胡弓独奏: 趙 国良

第二部 にほんの心
オーケストラ、マンドリン、
筝、合唱で綴る日本のうた
編曲: 小野崎李輔
少年時代 亜麻色の髪の乙女、いい日が立ち
見上げてごらん夜の星を 川の流れのように
空を飛べるはず トクル一郎 俊波 島唄
サイ

ミニこん! ききにこん!
音団連あ・らかるとコンサート

プログラム
アンサンブル
(弦楽、管楽、マンドリン、
リコーダーなど)、コーラス、
ピアノ独奏、声楽、筝曲
指揮: 榊本隆一

主催 福岡音楽団体連絡会/福岡県/福岡市/(財)アクロス福岡/(財)福岡市文化芸術振興財団

 日清ペットフード

愛猫へのこだわりのおいしさ、キャラット・懷石2dish。

- 2つの贅沢素材をおいしくトッピング、さらに1箱で2つのおいしさ
- いつも開けたてのおいしさ (脱酸素剤入り/風味を逃がさない小分けパック)
- 健康のための細かい配慮 (F U Sに配慮/おなかにやさしいマイクログラインド製法)



ペットの元気と長生きのために。
発売元 日清ペットフード株式会社
お客様相談室 ☎ 0120-22-1124
<http://www.nisshin-pet.co.jp/>



うお ぜん
『魚膳』で、
本当の魚の美味しさを味わってください。

『魚膳』は、お魚の身練りこみ製法。

粒に魚の味付けをするのではなく、
魚の身と一緒に練りこんでいます。

つまり、魚本来の美味しさをたっぷり楽しめるのです。
マルハペットフードの自信作、3つの味で新発売。
(※)



日本の猫は魚で育つ
マルハペットフード

※『サーモンとまぐろ本ねり仕立て』『青魚とまぐろ本ねり仕立て』『白身魚とまぐろ本ねり仕立て』


MORIMITSU
Grain & Pet Care Communication

株式会社 森光商店

〒841-8611 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜9-7
PHONE. 0942-85-1125(代) FAX. 0942-82-9780



あのひとに、
故郷の味でご挨拶。

2003 winter

大丸からお歳暮。

西館8階ギフトセンター 12月25日(木)まで 最終日は午後5時まで

大丸のベスト500選は
全国送料無料 [クール料も無料]

※但し、小離島でクール商品をお届けできない場合がございます。

会員様への
ご優待価格商品が約700点

非食品
20%ご優待

食品・洗剤
10%ご優待

ビール・お酒
5%ご優待

※産直便・美味しいエスト便・生鮮食品・お菓子・保存食品などのほか一部、
ご優待価格にてご利用できない商品もございますので、予めご了承ください。

時をこえて、美しく。

 DAIMARU
大丸・福岡天神